

とんがらし通信

ピアニスト

始めました♪♪

No.245

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・新利用者紹介
- ・【特集】私たちの思いを聞いて！
- ・フォトコンテスト
- ・合同レクリエーション ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2020年5月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



コロナ禍どさくさ憂惧譚 の巻

.....
 ここ数か月、仙台つどいの家では利用者さん・ご家族・職員一丸となってこのコロナとの付き合い方を模索しています。巷では新型コロナウイルスとの『戦い』だとか『戦争』などという物騒な表現も使われているようですが、この見えない相手とは静かに長く付き合っていくしかないのではないかと思います。

一連の動きを見ていて、日本国民というのはやっぱり勤勉でまじめでやさしい国民性なのだなあというのを再認識しました。『緊急事態宣言』が発出され、『ステイホーム』が叫ばれると、諸外国のような強制的な都市封鎖やロックダウンではない状況にもかかわらず、大多数の国民がしっかりと自粛できる。東日本大震災の際にも世界中の話題になりましたが、焦らず騒がず大人の対応ができる国と言ってもいいのかもしれませんが、一方でこの間の政府の対応には相変わらず失望させられます。

安倍首相は4月1日のエイプリルフールに突然『全国のすべての世帯に1住所当たり2枚ずつ布マスクを配布する』と表明、国民の度肝を抜きました。のちに『アベノマスク』と揶揄されたこの騒動、『発端が総理秘書官による「全国民に布マスクを配れば不安はパッと消えます」発言を真に受けた首相の独断だった』こと、『個人事業主等の所得補償を蔑ろにしながら当初460億円を費やす計画だった』こと、『妊婦用マスクの異物混入問題などにより、発表から1か月半が経過した現在でも配布率が5パーセントに満たない』ことなどから、緊急時も含め政府の対応力のなさが浮き彫りになりました。

安倍首相の会見対応にも違和感を覚えます。幹事社質問や代表質問に対しては想定問答の賜物かスラスラと雄弁ですが、自身の都合の悪いことに切り込んでくるマスコミに対しては切り捨てるかのような対応が目立ちます。5月4日の会見における中国新聞記者への態度はその最たるものだと思いますが、腹心の友トランプ大統領の会見とダブって見えるのは私だけでしょうか。

こうしたコロナへの直接的な対応のみならず、『コロナ禍に便乗したどさくさ紛れ』とも思えるような言動も枚挙にいとまがありません。

多くの民意を蔑ろにして強硬に進めてきた沖縄の『辺野古新基地建設』で、4月に新たな動きがありました。4月21日、以前から指摘されていた軟弱地盤の改良工事のため、政府は沖縄県に対して、地盤を固める砂杭の打ち込み工事や埋め立て護岸の配置変更など工事日程や工費の大幅な変更申請を行いました。そもそも辺野古への移設自体、県民を二分する大論議の末に民意によって『反対』を突き付けていた案件であるにもかかわらず、各自治体ともに新型コロナウイルス対策に最前線で取り組んでいる最中に持ち出された申請は『どさくさ紛れ』と言わざるを得ないでしょう。玉城知事も『断じて容認できない』と政府の対応を批判しています。

そして大騒動になっているのが、このたびの『検察庁法改正案』です。大きな柱は『検察官の定年の引き上げ』『検察幹部の役職定年制』の2点。ただし、内閣が認めれば3年間を上限に役職定年を延長できるとしている点は大きな問題です。ロッキード事件やリクルート事件などを見てもわかる通り、検察が与えられている捜査権や起訴権は首相をはじめとした政治家・官僚に対しても同様に行使できるものであり、検察人事とは独立性が担保されていることが何よりも前提となるわけです。安倍首相が弁明するように行政府の人事であることに間違いはありませんが、そこには政権が触れてはいけない不文律が脈々と受け継がれていたはず。そのタブーに踏み込み黒川検事長の続投を閣議決定した政権の暴走は、三権分立を柱とする民主主義の根幹を揺るがす、それこそ『緊急事態』です。そもそも昨秋の時点で改正案には役職定年延長は含まれていなかったといえます。これまで一貫して定年延長を適用しないとしてきた法解釈を1月に突然翻したのはなぜか。森友問題の際にも活躍したとささやかれる黒川検事長だけに、まだまだ利用価値があると踏んでの続投と言われても仕方ないと思います。

また、今回の改正案が『国家公務員法改正案』とともに一括で提案されていることにも大きな違和感を覚えます。国民を馬鹿にしているというか、お得意の煙にまく手法を今回も繰り出してくるあたり、自身の保身やご都合主義を絵に描いた裸の王様に映ります。嗚呼、いろいろと言いたいことはありますが、紙面の都合でこの辺で。。

ただ…。国民一人ひとりが本当にしんどい状況で踏ん張っている時に、時の政権に振り回されるのってどうなの？ 選ぶ側もきちんと学ぶ必要があると改めて思うのです。(管理者 山口 収)

新利用者紹介



めいぷるグループ

みぞぐちあんな
溝口安奈さん

鶴ヶ谷特別支援学校を卒業して、この春仙台つどいの家のめいぷるグループに入りました(^_^)

人懐っこく明るい安奈さん…みなさん、声をかけてくださいね！！

★好きなこと・得意なこと
体を動かすこと、卓球、スキー、ボールあそび
水泳は25m泳げます！！
音楽をきくこと、ダンス、カラオケ

★好きな歌手・歌
ももいろクローバーZ
USA (DA PAMP)
パプリカ (Foorin)
恋 (星野源) などたくさんあります。

★ひと言アピール
「よろしくね！」(本人より)
「安奈は生活をゆっくり楽しみます。どうぞ仙台つどいの前の道ではゆっくり運転してくださいと嬉しいです。」(母より)

異動職員紹介

もみじ支援員
てらしま ともこ
寺島 朋子



- ・趣味
温泉、音楽鑑賞
- ・最近あったいい事
掃除機をコードレスのものに買い替えたら掃除がめっちゃめっちゃ楽になりました！
- ・一言
皆さんと楽しく活動できるように頑張ります！
- ・好きなサッカー選手
ウカシュ・ファビアンスキ

けやき支援員
いまい たつ や
今井 達弥



- ・趣味
サッカー観戦
音楽鑑賞
- ・最近あったいい事
久保田利伸のLIVEに行った事。
- ・一言
ぴぼっと支倉から来ました！今井達弥と申します。皆さんと元気に活動していきたいと思えます！
- ・好きなサッカー選手
シャビ

特集！ 私たちの思いを聞いて！！

現在、コロナウイルスの影響で学校や商業施設がお休みになったり、外出自粛や外出制限があり、利用者さんご家族も職員も、ストレスが溜まってきています。そんな現在の状況をどう思っているのか、それぞれの立場で思いを書いてもらいました！（記：今川）

まずはくるみグループの菊地愛子さん☆

毎日コロナの事で心がいなくなりそうです。そのために初歩の支援、タスクも中止です。ストレスたまります。みんなをおなじおもしろくしてあげたい。

私は今はやっている事はアマビエです。SNSでも人気になっているみたいですね。私はアロマオイルとか樹脂でアマビエ作りをしています。アマビエはちかしかからまよの神ともよばれてます。

アマビエの
単衣履物を作ろう
とおもいました。
赤青ピンク黄グリーン
ちかしのゴレンジャーのようをヒーローの
アマビエにします。

みんなを中心に
知がついてると
コロナの人が
やっつけようかと...

アマビエは私にとって
正義のヒーローです。

アマビエ

きび

つづいて医療的ケアの必要な長岡美空さんのお母さん！

街の中からマスクが消え、消毒液、ハンドソープ、体温計、使い捨て手袋やウェットティッシュが消え、パルスオキシメーターまで！コロナが流行ってきたから使うのではなく、日常の医療的ケアで使うのですが、本当にそれそんなに必要ですか？と何度心の中で叫んだことでしょうか。

外出制限に関しては、去年の12月に美空の手術が予定されていたため、10月頃から休日の外出は自粛していました。初めの1、2ヶ月は不満も多かったのですが、日本中で自粛が求められるようになったころには、すっかり慣れっこに。お陰様で、ドラえもんの映画全作品を家族で見ました。

一番心配なのは、もしも先に私が感染したら美空はどうしたら良いのだろうということです。医師会でも医ケアのある子の対応は話題になっているとか。病院としては臨機応変に対応しますとのことですが、そんな事態は可能な限り避けたいものです。現在、通院もリハビリも可能な限り減らしています。もしも今発熱したとしたら、いつもの病院に行っても良いものか悩みますが、基礎疾患の状態から家で様子を見るのも怖い気がします。

感染症で亡くなるということの悲惨さは、志村けんさんや岡江久美子さんが教えてくれました。あんな別れ方は絶対にしたくない。『ステイホーム』のゴールデンウィークも、『爆発的に感染拡大したいウイルスに、互いの距離を取ることで静かな戦いをしているんだよ』と娘に伝えながら、ソフトクリームを食べました。

2人のお子さんを持つ職員の小野さんからは親の目線で！

不安でいっぱいだった高校受験も終わり、いよいよ待ちに待った高校生活！！と思っていた矢先、度重なる入学式の延期……。来年こそはリレーの選手になるぞ！！と意気込んでいたのに、これまた運動会も中止……。どこに怒りをぶつけられる訳でもなく、日々悶々としている子どもたちの姿を見ているのも辛いものです。

目に見えないものへの不安は、大人も子どもも一緒です。説明しようとしても、なかなか上手く伝わらない。それでも早く学校に行きたい、お友達に会いたいと思えば、自然と今自分たちに出来ること、我慢することが子どもなりに理解出来るようになってきた様子です。学力低下や運動不足、親としては心配なことたくさんありますが、頑張っている子ども達にこれ以上何も言いたくない。今は、子どもたちとゆっくり過ごす時間だと思い、一緒にバドミントンをしたり、少し贅沢おうちご飯を試してみたり。我が家なりに、窮屈にならないよう、煮詰まらないように頑張っています。

一日でも早く笑顔で気兼ねなく外へ飛び出せるよう、一緒に今を乗り越えたいと思っています。

(記：小野)

最後はめいぶるグループ職員の吉田さん☆

3月上旬のある日のことです。「明日からパンの製造がなくなります。ショップも閉めることになりました。」コロナウイルスの影響がめいぶるまで及んだことで、みんな驚きを隠せない様子でした。「いつになったらまたパンが作れるのですか」「販売にも行けないのですか」「朝の仕事はどうなるんですか」と利用者さんからの1つ1つの質問に「いつまで」と明確に答えることが出来ず、私も戸惑いました。朝いつものように白衣を着たものの、パンの製造がなくなりがっかりして座っている利用者さんもいました。めいぶるの週案からそれまで当たり前にあった「工房」がなくなり、毎日楽しく通所してもらうにはどうしたらいいのかと悩みました。

そこでまず行ったのが週案の話し合いです。散歩に行く、ピアノにあわせてラジオ体操をする、調理活動でハンバーガー作りをする、カラオケをする…。しかし、それらを実行するなかで普段のお仕事では見られない新たな一面もみることもできました。お仕事をすることで得られる充実感もちろんあるけれど、工房がない今でも利用者さんにならなく通所してもらえることに少しほっとしています。

最近、少しずつですが、内部で注文をとりパンやお菓子も作ることができるようになりました。久しぶりに触るパン生地の感触にとっても嬉しそうな様子でした。この期間に改めてめいぶるの利用者の方々はパンの作業が好きなのだ、やりがいをもって働いているのだと感じました。一刻もはやくコロナウイルスが終息し、皆が自信を持って作ったパンを地域の方に届けられるようになるのを願うばかりです。

(記：吉田)

発表!

令和元年度フォトコンテスト!!

仙台つどいの家では、毎年職員の『フォトコンテスト』を行なっています。その年度の活動の一コマなどとしておきの写真を各自3枚までエントリー。私が独断と偏見で『大賞』『第2位』『第3位』を決定して、勝手に表彰しちゃうというものです！活動の時の写真には普段見られない表情やしぐさが映っていたり、違った角度の利用者さんを知ることができる手掛かりがたくさんあります。職員のみなさんには、そうした『決めつけないこと』や『いろいろな角度から利用者さんを見る視点』を養ってほしいなあと考えています。今年も令和元年度のフォトコンテストの結果を発表しました。みなさま、お楽しみくださいな〜！（記：山口）



こんな感じで廊下に貼ってあります！



大賞!! 『私が取ってあげるわよ』(佐藤ゆき子)
評：ゆき子さんが届かないのを手伝ってくれようとする智子さんのやさしさにグッときました。背伸びしている足元がサイコ〜です。



第2位!! 『好きな色、見つけました』(今川怜子)
評：農業園芸センターのファンタジーナイト。きれいなものを見るという目標が実現した外出でした。葵さんの表情がとてもgood!です。

第3位!! 『隙あらばストレッチ☆』(吉田咲)
評：食事の前にストレッチ。乙女心ですなあ。七海さんの表情もとても伝わってきます。タイトルのセンスも Good!



『バスに乗ってGo!!』



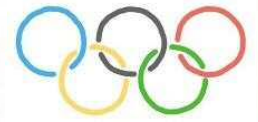
『戦士の休息』

特別賞!! の2作品



コロナな日々を楽しむ方法！

「合同レクリエーション編」



現在、新型コロナウイルスの感染を防止する観点から、仙台つどいの家は外出活動の自粛をしています。例年、仙台つどいの家は街中に行ったり、バスや電車を使って外出したり、地域のイベントに参加したりと、地域への外出活動をたくさんしていますが、この状況のため、室内活動や近隣への散歩程度の活動にとどまっています。でも、利用者さんは「外出をして、楽しみたい！」という気持ちでいっぱいです。

そんな中「利用者さんに少しでも楽しんでもらいたい！」「今できる活動は何なのか？」という職員の思いをきっかけに、「皆で合同レクリエーションを楽しもう！」ということになりました。仙台つどいの家の職員は外出活動はお手の物ですが、室内活動はあまり得意ではありません・・・(+_+)でも、こんな時こそ、室内活動を充実させていくチャンスで、職員のスキルアップにも繋がる良い機会だと思いました。今までも、活動でレクリエーションはやっていましたが、以前のように、内容をじっくりと計画して、しっかりと事前準備をしてから実施することは少なくなり、中身の濃いレクリエーションはあまりできていませんでした。時代の流れなのかと思ってもいましたが、今こそ、不得意を得意にする機会、「ピンチはチャンス！」の時だと考えました。職員を3名位の班に分けて、定期的に「合同レクリエーション」をやることにしました。

第1回目は「チーフ班」で、まずはグループチーフがお手本??でやりました。レクリエーション名「つどリンピック2020」。内容は3種競技「サイコロ転がし」、「風船割り」、「玉入れ」で、利用者さんがチームに分かれての対抗戦です。各競技で利用者さんは自分の力を上手く使いながら、車椅子



つどリンピック



のタイヤで風船を割ったり、サイコロを投げたりと、声を出したり、ビックリしたりしながら楽しみました(^o^)/ 第2回目は「A班」で、レクリエーション名「綱引き大会」。文字通りチームに分かれて皆で協力しながら綱を引っ張りました。「よいしょ！よいしょ！」と皆で掛け声を出しながら盛り上がりました(^-^)

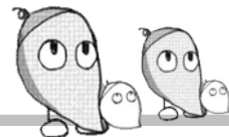
今後、「B班」「C班」の合同レクリエーションと続いてやっていきます。まだ始めたばかりで、職員のスキル不足もあり、皆が十分に楽しめる内容にはなっていませんが、1年間通してやっていく内に、今よりも充実した、楽しめる合同レクリエーションになっていくと思います。その頃には、新型コロナウイルスも終息していると思うので、仙台つどいの家は外出活動も室内活動も、両方とも得意なスペシャル事業所になっているはず！利用者さんが楽しみながら充実した日々を過ごせる事業所を目指して、今こそ職員の腕の見せ所なのです(^o^)

(記：佐藤和)



綱引き





スケジュール schedule

6月

- 2日 (火) 事業所見学会
- 3日 (水) 利用者・職員健康診断
- 9日 (火) 事業所見学会
- 11日 (木) 事業所見学会
- 13日 (土) 休日開館日(けやき)
- 17日 (木) 施設懇談会
- 18日 (木) 事業所見学会
- 19日 (金) ケース会議 13:30 降所
- 23日 (火) アートの日、職員会議
- 26日 (金) 防災訓練



7月

- 7日 (火) ケース会議 13:30 降所
- 9日 (木) 事業所見学会
- 14日 (火) 幸町地域懇談会
- 17日 (金) 施設懇談会
- 22日 (水) 職員会議
- 23日 (木) 海の日(休館日)
休日開館日(さんしょ)

ご協力ありがとうございます ボランティアとして協力して頂いた皆様

(3月9日～5月8日まで)

工藤さん、吉田さん、シルビアさん、京子さん

見学・来訪者など

ヤクルト、今庄青果、鈴木米穀、マルイ、マルキ水産、サトー商会、エコクリーン、(株)ラキア、ダスキン、ホシザキ東北、セトヤサプライ、日本テクノ(春藤さん)須藤さん、マルゼン、ジェーシーアイ、風の郷工房、田村製作所角田拓也さん、バイタルネット

法人職員：佐藤理事長、下郡山前理事長、佐吉、檜山、安斎、小林、ほか
(以上、ご芳方順不同)

缶回収

4月の納品額

合計 1,677 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

STAY HOME 週間、皆さんはどのように自宅ですごされましたか？外出できない分ストレスも溜まりますが、自宅でどんな事を行い楽しまれていますか？

私は子どもの衣服の断捨離や、撮りためたドラマ・映画を見たりし過ごしています。最近特に子供と一緒に You Tube にハマっており、松浦航大さんという、歌手で YouTuber でもある方の歌の映像を見ています。子供と共通の話題でお話をしたり、一緒に映像を見て過ごすことができるので、私にとっても貴重な時間となっています。今年のように自宅ゆっくり過ごす期間も滅多に無い事なので、この STAY HOME 週間を大いに楽しみ、コロナウイルスに負けないよう免疫力を高めて過ごしていきたいと思います！(記：竹浦)

～ご寄付のお願い～

重いしょうがいのある方の地域での生活を支えるため、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。このたびクレジットカードによるご寄付も可能になりました。詳しくは…



仙台つどいの家へのご寄付のお願い



いつも仙台つどいの家を応援いただき、ありがとうございます。

仙台つどいの家は『どんなに重いしょうがいのある人も、地域社会で差別されることなく、いきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援する』という法人の理念を実践するために、日々地域のみなさんとのつながりを基本に活動を行なっています。しょうがいのある方が自分らしく生活することがあたりまえにできる街を、一方通行ではなく地域の方とともに作っていくことが大切だと考えているからです。

しかしながら、重いしょうがいのある方がその人らしく生活していくことを保障するためには、多くの人出と資金がかかるのが現実です。より良い事業を継続して運営するために、ぜひとも仙台つどいの家にご寄付のご協力をお願い申し上げます。

* 仙台つどいの家への寄付は、確定申告によって所得税法上の寄付金控除が受けられます。控除を受けるためには領収書の発行が必要ですので、入金前に必ず添付の寄付申込書を郵送またはFAX・Eメールにて送信ください。

【ご寄付振込先口座】

七十七銀行 沖野支店 普通5382858

社会福祉法人つどいの家 仙台つどいの家 理事長 佐藤清

ご連絡・お問合せは・・・仙台つどいの家（山口・早坂）
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
TEL022-293-3751 FAX022-293-3752
e-mail o-yamaguchi@tsudoinoie.or.jp

寄 附 申 込 書

令和 年 月 日

社会福祉法人 つどいの家
理事長 佐藤 清 様

住 所 _____

氏 名 _____ ㊞

私はこのたび貴殿に対し、下記のとおり寄附を申し込みます。

寄附年月日	令和 年 月 日
寄 附 金 額 (物品寄贈等の場合)	円 ()
寄 附 使 途 (該当項目へ <input checked="" type="checkbox"/> チェック をお願いします。)	<input type="checkbox"/> 法人の運営費に使用して下さい。 <input type="checkbox"/> 事業所の設置整備費や利用者の活動費の一部に使用の指定をする 場合には、事業所名を記載願います。 (指定事業所：) <input type="checkbox"/> その他使途を指定する場合は記載願います ()
広報誌・ホームページへの 氏名の掲載について	ご寄附いただいた方への感謝の気持ちとして、氏名を広報誌及びホーム ページに掲載させていただいております。氏名の公表を承諾されない場 合はレ点をつけて下さい。 ・氏名の公表 <input type="checkbox"/> 承諾しない

----- <事務処理欄> -----

理事長		管理者		担 当		受理日	令和 年 月 日
						決裁日	令和 年 月 日

とっても残念なのですが…

今年度の下記のイベントは **中止**させていただきます！

- 5月28日（木） 地域貢献企画
- 6月12日（金） ふれあいセール
- 7月 3日（金） コンサート
- 7月14日（火） 幸町地域懇談会
- 8月 1日（土） 夏まつり
- 9月25日（金） 後援会共催上映会
- 9月29日（火） コンサート
- 10月10日（土） バザー

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度のイベントについては中止・大幅な規模縮小を余儀なくされています。仙台つどいの家に通っている利用者さんたちは、抵抗力が弱く基礎疾患により重篤化しやすい方たちが多いため、十二分な警戒が必要なのです。そのため、イベントのみならず日常の活動においても、近隣店舗の利用はもとより外出活動も自粛せざるを得ず、近隣の散歩程度に縮小しているため地域のみなさんと顔を合わせる機会も少なくなっています。

もともと地域のみなさんとのつながりを何よりも大切に、励みにして活動してきた仙台つどいの家ですので、利用者さんも職員もとても残念で鬱々とした日々を送っています。一日でも早く地域のみなさんと以前のように笑いあえるよう、今は我慢を重ねて終息を祈りたいと思います。なお、仙台つどいの家の近況につきましては、とんがらし通信をはじめとしてホームページ・事業所前の掲示板を通じて発信していきます。

今後とも仙台つどいの家をよろしく願いいたします。

仙台つどいの家施設長 山口 収